

の農業者を含めた地域農業のあり方等を記載した人・農地プランを作成しようとするものである。

〔質疑〕有害鳥獣対策事業に、新たに狩猟の免許取得の助成が入っているが、取得の一部を補助するものなのか。

また、鳥獣被害防止総合対策交付金についてはイノシシなどの捕獲が相当数可能になるものなのか。

〔答弁〕狩猟免許取得費助成については、受験手数料と講習会受講料を補助しようとするもので、25年度は5人分を計上している。

鳥獣被害防止総合対策交付金については、野生鳥獣による被害の深刻化、広域化に対し地域ぐるみの被害防止活動や捕獲の強化のため自治体に対する出役費、箱わな、くくりわな購入費等を白石市農作物有害鳥獣対策協議会に対して交付するというものである。これにより、個体数の減少に努め、農作物の被害防止を支援しようとするものである。

〔質疑〕震災復興割増商品券発行について、平成25年度で2年目となるが、商品券発行はいつになるのか、また1人当たり買える限度は何セットとなるのか。

〔答弁〕商品券の発行時期は7月中旬頃と考えている。前回と同じように1人3セットの限定発売としていきたい。



昨年の商品券発売時のチラシ



昨年の商品券販売の様子

〔質疑〕中小企業振興資金融資付制度の昨年実績はどのくらいであったのか。

〔答弁〕中小企業振興資金は中小企業の金融円滑化と経営の安定を図るために、保証料の全額補給を継続している。平成23年度の実績は58件、3億1千865万円、平成24年度は昨年12月31日現在で39件、3億2千500万円を貸し付けている。

◎第30号議案・平成25年度白石市水道事業会計予算

〔質疑〕受水費は南部山浄水場ができた当時から関係自治体で割り振って決まっているものだと思うが、変更などの話はないのか。

また、原水量から給水する割合はどのくらいになっているのか。

〔答弁〕受水費の水量割合については、建設当時、関連市町で取り決めをしている。管理者である市長が会議のたびに、人口が非常に減少しており、見直しが必要ではないかと県のほうに要望はしているが、今のところ当時の建

設に基づく負担であるので、県もなかなか見直しに応じないというのが現状である。また、当市の給水状況だが、責任水量の約80%という現状である。

〔質疑〕各温泉施設や工場などが自分で井戸を掘るといった話もあるが、水道を使ってもらうよという啓蒙は行っているのか。

〔答弁〕ぜひとも上水道を使っていたきたいと願っているが、企業等も上水道を必ず使わなければならないということにもなっていないため、苦慮しているところである。

〔質疑〕今後、布設替えが必要な水道管はどの程度あるのか。また、平成25年度の布設替えは何メートルを予定しているのか。

〔答弁〕昭和27年、28年頃に布設された水道管の布設替えである。60年経過しているため、かなり老朽化している水道管の布設替えを行っていくということである。

2万1千411メートルが老朽化しているという調査結果があり、年次計画を立て布設替えを行うということにしている。平成25年度は533メートルを予定している。

◎第31号議案・平成25年度白石市下水道事業会計予算

〔質疑〕越河地区の農業集落排水事業について、水洗化率が低い、営業努力をどのように図っていくのか。

〔答弁〕越河地区農業集落排水事業の1月末現在の水洗化率が47・8%であり、もう少しで半分に達するという状況である。上下水道事業所としては利用組合を作ってもらい、その利用組合の総会や役員会等に職員が出席し、越河地区の現状を伝え、役員の方々はまだ接続されていない家庭に対して普及活動をお願いをしているところである。

また公認店等もあるため、積極的な営業活動をしていただきたいとお願いをしているところである。